

「第 6 回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2025」 開催報告書

京都大学大学院医学研究科

2025 年 3 月 28 日

京都大学及び日本のアカデミア発の医療・生命科学領域のイノベーションの海外展開の支援を主目的としたイベント「第 6 回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2025」を 2025 年 2 月 20 日、21 日の二日間にわたりカリフォルニア大学サンディエゴ校(UC San Diego)にて開催したので、以下のとおり報告する。

1. 実施概要

項目	概要
イベント 名称	第 6 回京都大学ライフサイエンスショーケース@San Diego 2025 (英語表記: The 6th Kyoto University LifeScience Showcase @ San Diego 2025)
目的	・日本国内アカデミア発の医療領域のイノベーションの事業化・海外展開の推進の支援 ・日本国内アカデミア発スタートアップ企業が米国での起業・製品開発を学ぶ教育機会の提供
日程	2025 年 2 月 20 日(木)、21 日(金)
会場	2 月 20 日(木) : Roth Auditorium at Sanford Consortium for Regenerative Medicine 2 月 21 日(金) : Center for Novel Therapeutics
概要	2 月 20 日(木): ショーケース ピッチ発表イベント 13:00-16:15 ピッチ発表 15 分×11 社 16:30-18:00 レセプション&ネットワーキング 2 月 21 日(金): 教育セミナー・現地インキュベータ見学ツアー 9:00-12:15 米国内での起業・製品化に関する教育講演 12:30-13:30 ランチョンセミナー (資金調達に関する教育講演) 14:00-15:30 現地インキュベータ、スタートアップ支援施設の見学
対象技術 領域	医薬品、再生医療等製品、医療機器、体外診断薬等もしくは AI 分野での将来の製品化を視野に入れて研究中の先端的医療技術・シーズ
発表企業	国内外からの公募・事前審査で採択されたアカデミア発ベンチャー企業
実施体制	主催 京都大学大学院医学研究科 京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT) 京都大学サンディエゴ研究施設(KURC-SD)

	京都大学大学院医学研究科 「医学領域」 産学連携推進機構 (KUMBL) 京都大学総合研究推進本部 共催 名古屋大学メディカル AI 人材養成産学協働拠点 (AI-MAILs) ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J) 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 協賛 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) HomeLab Powered by LabFellows Next Orthosurgical, Inc. SEKISUI AMERICA CORPORATION 後援 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 京都市 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 (FBRI) Hitachi High-Tech in the U.S.A. Ever Inc. 株式会社 TLO 京都 京都大学イノベーションキャピタル株式会社 京大オリジナル株式会社 Japan Forum for Innovation and Technology (JFIT) at UC San Diego Science and Innovation for the Next Generation (SING) UC San Diego School of Medicine UC San Diego Moores Cancer Center
--	---

2. ショーケース実施内容

(1) 2月20日ピッチイベント

①現地参加者

合計 104 名（属性別詳細は一覧参照、事前登録なし 11 名当日飛び込み参加）

参加者属性別集計一覧

職種別

属性	総数
Angel / VC	12
Consultant	4
Pharmaceutical / Biotech	7
Patent Office / Law firm	1
Startup / Venture	19
Researcher	24
Supporting Organization	25
Others	12

役割別

属性	総数
一般	55
コメンテーター	11
発表者	11
関係者	27



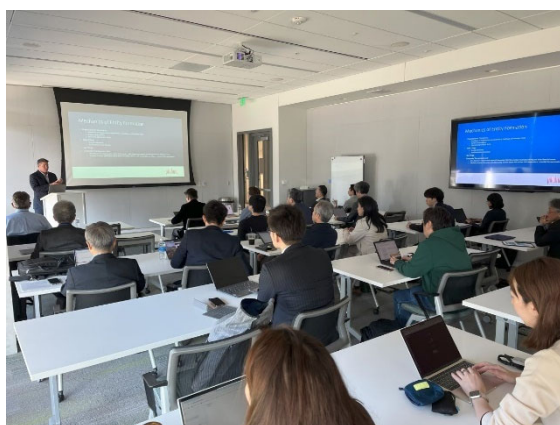
②ピッチ発表内容

時刻	登壇企業
13:05	Gifts Co., Ltd. Jun Ogasawara CEO
13:20	mealwell Inc. Tomoyo Hayasaki CEO & Founder
13:35	ANT5 Co., Ltd. Michiyasu Suzuki President & CEO
13:50	MaRI Co., Ltd. Hirofumi Taki CEO, CTO & FOUNDER
14:05	Thrombo Translational Research Labo Inc. Yuichi Kamikubo President & CEO
14:35	Rokken Inc. Yasukazu Sakamoto CEO
14:50	Crafton Biotechnology Co., Ltd. Hayato Watanabe President & CEO
15:05	Autoimmunity BioSolutions Gaddiel Galarza-Munoz Co-founder and CSO
15:20	Neurgain Technologies, Inc. Martin Marsala Co-Founder & Chief Scientific Officer
15:35	Rev Therapeutics, Inc. Yoshi Satoh VP Chemistry
15:50	EverFortune.AI Co., Ltd. from CMU Big Data Center Joseph Chin-Chi Kuo Professor

(2) 2月21日教育セミナー・現地見学ツアー

①教育セミナー プログラム内容

時刻	講師	タイトル	概要
9:00	Jason Stirling	Legal Considerations for a US Business Entity	米国における会社登記の方法や VISA 取得のための移民法や知財の取り扱いについて、具体的な例を挙げて説明された。
10:00	Chip Morgan	Inbound Tax Considerations	米国法人を設立した場合における、財務や納税についての説明がなされた。
11:15	Mizuo Kimiya	Japan-US inversion	コーポレートインバージョンについての説明がなされた。
12:30	Taka Kiyozumi	アーリーステージベンチャーの資金調達アメリカ進出の考え方・プロセス	米国における資金調達の方法・状況やアメリカ進出のプロセスについて解説された。



② 現地見学ツアー

サンディエゴ在住の日本人研究者の会である SING 代表の林公子博士により同会の活動内容について説明がなされた。その後、Center for Novel Therapeutics (CNT)の1、2階フロアにインキュベータ施設を設置している HomeLab の Head of Strategic Partnerships の Alex Frey 氏による同施設の機器・設備に関する説明・見学ツアーが行われた。



③HomeLab/SING 主催交流会

日本からの参加者、現地のスタートアップ企業、SING のメンバー、招待された現地投資家が集い、自己紹介がなされ、活発な議論がなされた。交流会の最後は CNT1 階のアトリウムホールにて HomeLab/SING/Hitachi High-Tech in the U.S.A./SEKISUI AMERICA CORPORATION からの食事提供のもと、ネットワーキングが行われた。



3. 会計報告

本イベント開催にかかる支出は下記のとおり。主な財源として、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業補助金、名古屋大学メディカル AI 人材養成産学協働拠点補助金を使用した。

また、共催機関であるライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)から飲食費として\$2,514(約 40 万円)、協賛機関である Next Orthosurgical, Inc.から飲食費として\$644(約 10 万円)を支援いただいた。

これらのほか、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム 再生・細胞医療・遺伝子治療研究実用化支援課題（規制・社会実装支援課題）」、「医療技術実用化総合促進事業 先端医療技術開発力に基づく革新的医薬品・医療機器等の臨床開発」からも経費を支出した。

事項	金額(円)
会議費	600,577
会場借料費	1,601,363
人件費	8,261,110
旅費	11,175,775
諸雑費	137,194
計	21,776,019

4. おわりに

本イベント開催にあたりご賛同いただいた各機関、連携校である UC San Diego 関係者からの多大なるお力添えにより、無事にイベントの全行程を完了することができた。

今回のイベントは昨年に引き続き現地開催となり、本学医学研究科をはじめとする日本国内の医療領域において見出された先端技術を海外で開発することを目指すスタートアップ企業以外にも台湾の大学発スタートアップ企業が参加した。本イベントが米国現地投資家等との本格的な交渉や協議につながる機会となること、また、本学サンディエゴ研究施設が両国の医療開発シーズを育てるための起点のひとつとして活動展開することが期待されている。

来年度以降も、本学をはじめとする日本国内アカデミアのイノベーションの社会実装に貢献できるよう、参画機関等と連携しながら本イベントの更なる充実を図る。

以上